

能動態で行こうぜ

2020年4月6日

第1号
3年学年通信

進級おめでとう。そして一緒に乗り越えよう。

進級おめでとうございます。令和元年度は様々な変更と、時代の大きな変化があり、皆さんの高校生活も3/4が過ぎました。1～3月の受験の際に、3年間の集大成の成果を出すためには、これからの一日一日の過ごし方が重要です。

世界中で刻一刻と状況が変化し先行きが不透明な今、私たちはどのような心持ちで日々を過ごしていけば良いのでしょうか。ips 細胞で有名な山中伸弥教授は自身のHP中でこのように述べています。『新型コロナウィルスとの闘いは短距離走ではありません。1年は続く可能性のある長いマラソンです。…一人一人が、それぞれの家庭や仕事の状況に応じた最速ペースで走り続ける必要があります。』

1年以上とも予想されるウィルスの脅威に注意を払い、自身の行動に責任を持つことは大切です。ただ、過度に気にして何も手に付かない、という状況だけは避けなければなりません。自分でコントロールできない部分にフラストレーションは溜めず、コントロールできる部分は100%取り組んでいってほしいです。

私たち学年団も積極的にバックアップし、皆さんの自宅学習を支援します。今こそ結束し、未曾有の困難な状況を共に乗り越えていきましょう。(一井)

私たちに、一番大切なことは

それは、自分の命、周囲の命を大切に思い、守ることです。これは、いつの世も変わらぬ真理には違いありません。一人ひとりのそのような思いや行動が、人類すべてを大切に思い、守ることに繋がるのでしょうか。

新型コロナウィルスのパンデミックという未曾有の事態に見舞われている今こそ、私たちがそのような行動がとれるかどうか、試されているのではないのでしょうか。

そのためには、「感染しない」ように努めることです。治療薬すら発見されていない、未知の新型コロナウィルスですから、私たちが出来ることは限られています。まずは、

「3つの『密』を避ける」

「手洗い、うがいなどを徹底して行い、体内や家庭内にウィルスを入れないようにする」ことです。不要不急の外出、ましてや集団での外出は避けなければなりません。

加えて、免疫力を高めておくことも必要です。若いから、体力があるからと言って、それを過信してはいけません。このような状況では運動量は明らかに減少し、筋力も体力も衰えてしまうものです。今こそ、正しい基本的な生活習慣を心がけなければなりません。

「起床・就寝時間を定め、早寝早起きをする」

「3食しっかりバランスよく食べる」

「3つの『密』は避けながら、適度な運動をする」

ことです。ストレス過多になりがちな今ですから、それに負けないためにも健康な体が大切です。体の健康を保ち、自分の目標に向かって取り組むことによって、様々なストレスにも立ち向かえるようになるものです。

とは言え、このような状況下では、いつどこで感染しないとも限りません。万一感染したのではないかと思われる状態になったら、周囲の人たちに「感染させない」ために、適切な行動をとりましょう。もちろん、日頃から「咳エチケット」は守るものですが、それも含め、「感染させない」ことを第一に考えて慎重に行動し、医療機関などに相談して、冷静に対処しましょう。

もう一つ大切なのは、情報に対して正しく判断し、惑わされないように努めることです。未知のウィルスに対し、日々変化し、氾濫し続ける情報に対して、正しい判断を下すのは、勿論非常に難しいのは言うまでもありません。しかし、少なくともニュースソースを確認し、受け取るべき情報を精査しなければなりません。その上で、それらの情報に基づき、「自分の命、周囲の命を大切に思い、守る」という第一義に照らして、自分がどう行動すべきかを考えることが必要です。私たちの思考力・判断力が問われているのです。社会人として正しい判断を下せるように、単なる知識ではない、深い教養を身につけていけるよう、お互い努力していきましょうね。

進路実現を目指す1年

大学入試が例年通り行われるとすれば、大学進学を目指す人は12月には受験する大学学部学科をすべて決定しなければなりません。そうすると、この1学期は第1志望を固める時期となります。

第1志望が確固たる目標になれば、モチベーションが高まり、進路実現までに突き当たる障害や困難に立ち向かい、乗り越えるためのこの上ない、心の支えになります。

まだ第1志望が決まっていない人は、この時期に、もう一度学部学科や大学の情報を収集し、決められるように熟慮を重ねてください。

そして第1志望を確固たる目標にするために、志望動機を400字で書いてみましょう。自分の嗜好（好み）が何か、あるいは自分の特技や特性をどう生かしたいのか、はたまた社会にこのように貢献したい、など様々な観点から、なぜ志望したのか、その動機を考え、言語化してみましょう。言語化することによって、自ら再認識し、なぜ第1志望なのかを再考し、その動機を深めることができるものです。（もしかしたら、これは自分の第1志望ではないと気づき、正しい目標を見つけるきっかけになるかもしれません…それもいいですよ）

まずは、5月7日までに400字で志望動機を書いてみましょう。

藤田先生から皆さんへのご挨拶

私は皆と同じ2年前に小松川にやって来ました。まだ学校の様子が全然わからない中で行ったスプリングセミナーで、皆と一緒にコマ高生（コマ高教員）になるためのステップを踏みました。

山沖先生からバトンを渡されて、103期生を預かる責任の重さを痛感しながらも、関わりの深い103期生の担任になることに喜びを感じています。

“NO PRESSURE, NO DIAMONDS” 私の大好きな言葉です。困難を乗り越えたら、来年3月には皆キラキラ輝くことでしょう。

